

令和6年度
愛媛大学工学部附属環境・エネルギー工学センター
リカレント教育プログラム

水素エネルギー

参加無料

セミナー

2025

1/17

Fri

開始時間：13時20分（16時40分終了）
会場：BEMAC株式会社 幕進ベース
〒794-0067
愛媛県今治市高橋ふれあいの丘3番

愛媛大学の専門家の講義や実習で、
カーボンニュートラル社会で**重要なキーワード**の
「水素エネルギー」について

“学んでみませんか？” “学び直してみませんか？”
詳細は裏面をご覧ください。



【定員】

第一部（講義）：20名

第二部（実習）：8名

※先着順で受け付け、
定員になり次第メ切と
させていただきます。

※事前申込が必要です ↓

申込期日：2025年1月8日(水)迄

<https://forms.gle/99Y9jGyynimW4gzHA>



<主催>

愛媛大学工学部附属環境・エネルギー工学センター

本セミナーは、2050年のカーボンニュートラル、および脱炭素社会の実現に向け、重要なキーワードである「水素」をテーマに開講します。

第一部では「水素」の燃焼利用および発電利用について知っていただくための講義、第二部では「水素」の利用を実践的に知っていただくために燃料電池に関する実習を行います。

【セミナー タイムテーブル】

13:20 開会挨拶 愛媛大学工学部附属環境・エネルギー工学センター
センター長 中原 真也

第一部（定員20名程度）

13:30~14:15 講義①「水素のカーボンニュートラルでの活用と燃焼利用」
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 中原 真也

カーボンニュートラルにおいて水素が重要視される要因を紐解き、水素の安全利用と高度有効利用には欠かせない、水素の特徴や燃焼特性、および水素キャリアのひとつとして注目されているアンモニアの燃料としての特徴について講義を行います。

14:15~15:00 講義②「水素の製造と発電利用」
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 板垣 吉晃

水素はどのようにして燃料にできるのか、燃料電池の構造や発電性能を踏まえ、具体的な水素製造方法について講義を行います。

15:00 セミナーまとめ 愛媛大学工学部附属環境・エネルギー工学センター
副センター長 三宅 洋

第二部（定員8名）

15:20~16:40 実習 「燃料電池セルの作製と評価実習」
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 板垣 吉晃

第一部の講義を元に、水を電気分解して水素を発生させて発生効率を計測します。また、燃料電池を作成し、発生させた水素を利用して実際に発電させてみて、発電効率を計測する実習を行います。

※機材の都合により先着順で8名までとさせていただきます。

【アクセスマップ】

＜公共交通機関ご利用の場合＞

今治駅前発 イオンモール今治新都市線
「イオンモール今治新都市」で降車後、徒歩10分

＜お車でお越しの方へ＞

会場の駐車場（無料）は台数に限りがございます。
出来るだけお車に乗り合わせの上お越しいただけますようお願い申し上げます。

マップ出典：地理院地図Vectorを加工して作成



<担当> 愛媛大学工学部附属センター事務局
Mail : cse3@stu.ehime-u.ac.jp
Tel : 089-927-8440